

授 業 目 名	高次脳機能障害学・評価法 I	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	1年（後期）
担 当 教 員 名	岡田 健太郎	単 位 数	1単位
		時 間 数	30時間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕</p> <p>高次脳機能は、認知、行為、記憶、言語などの高度な機能のことで、高次脳機能障害とは脳卒中や交通事故などが原因で脳に損傷を受け、日常生活・社会生活への適応が困難となる障害をいう。言語聴覚障害学の根幹をなす為、脳の解剖などの基礎から症状、評価・訓練を学ぶ。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>高次脳機能障害により、さまざまな症状（記憶障害・注意障害等）がおりうる。その症状について理解を深めること。</p>		
授 業 回 数	授 業 内 容		
第 1 回	高次脳機能障害について		
第 2 回	脳の構造・機能局在について		
第 3 回	大脳の構造・機能局在について		
第 4 回	脳血管系（脳血管障害・外傷他、病態について）		
第 5 回	脳機能の回復機序について		
第 6 回	意識障害/せん妄		
第 7 回	視覚認知の障害①		
第 8 回	視覚認知の障害②		
第 9 回	視空間障害①		
第 10 回	視空間障害②		
第 11 回	グループワーク①		
第 12 回	グループワーク②		
第 13 回	聴覚認知の障害		
第 14 回	触覚認知の障害		
第 15 回	まとめ		
評 価 方 法	定期試験で評価します（100%）		
教 科 書 参 考 図 書	〔教科書〕 高次脳機能障害学（医学書院） 病気がみえるvol.7脳・神経（メディックメディア）		
履 修 上 の 留 意 点	臨床で必要とされる知識が多くあるので、気を引き締めて勉強してください。 教科書類は、必ず持って来て下さい。		
メ ッ セ ー ジ	よく復習して理解を深めて下さい。		